

涌谷町



秋の山唄

「^{あき}秋の^{やま}山唄」は元々、秋の^{ざっ}雑木刈りの時に歌う「木^き伐り唄」で、当地方で広く唄われていた^{ろう}労作唄であり、東北地方の^{みん}民謡として広く唄い継がれてきました。人々は「秋の山唄」を唄うことにより、^の篁岳山の山の^ご神に^ご五穀豊穡を祈りました。これが民謡作詞家の故後^{とう}藤桃水先生により^{とう}編曲され、「秋の山唄」として全国の多くの人に愛され、^{うた}今も唄い継がれています。



涌谷町では毎年11月第2週の土、日曜日に、全国から毎年多くの出場者が集う「秋の山唄全国大会」が開催されます。大会は令和元年度で通算35回を数え、優勝者は^{こん}篁岳山の^{ぼう}篁峯寺に山唄を奉納します。

また、涌谷中学校の総合学習の時間などにも取り入れられ、町内で行われるイベントを中心に、地域から愛される郷土芸能として受け継がれています。